

今後の社会資本整備の方向性

これまでの議論と本日ご議論いただきたい事項

第50回計画部会(令和5年12月14日)

- 重点計画に基づく施策の進捗状況
- 社会資本整備、交通政策を取り巻く社会経済情勢
 - ・ 気候変動の深刻化、巨大災害リスクの切迫
 - ・ インフラ老朽化の加速度的な進行
 - ・ 国際競争の激化や世界的な不確実性の拡大
 - ・ 人口減少・急速な少子高齢化がもたらす地域の危機
 - ・ 建設業や交通・運輸関係産業における人材不足の深刻化
 - ・ 2050年カーボンニュートラル、ネイチャーポジティブの世界的な潮流

第51回計画部会(令和6年4月25日)

○ 次期計画期間における社会資本整備と計画の実効性確保に関する主な論点

- 概ね10年から20年先を見据えた社会資本整備の中長期的な目的及び取組の方向性
- 次期計画期間内における社会資本整備の主な論点
 - ✓ 自然災害から国民のいのちと暮らしを守る社会づくり・国土強靱化
 - ✓ 加速度的に進行するインフラ老朽化への対応・インフラ管理の最適化 等
- 計画の実効性を確保する方策に関する主な論点
 - ✓ 各地方を取り巻く社会経済情勢等を踏まえた重点目標の設定及び取組の推進
 - ✓ 多様な効果を勘案した公共事業評価等の実施
 - ✓ 政策間連携、国と地方公共団体の連携、広域連携の強化 等

第52回計画部会(令和6年9月25日)

○ 次期計画期間における社会資本整備の重点目標等

- 次期計画の計画期間内における社会資本整備の重点目標について
 - ✓ 活力ある持続可能な地域社会の形成
 - ✓ 強靱な国土が支える持続的で力強い経済社会
 - ✓ グリーン社会をけん引する社会資本整備
 - ✓ 戦略的・計画的な社会資本整備を支える基盤の強化
- 新たな時代におけるインフラマネジメントの方針について
 - ✓ インフラ整備の目標を効率的・効果的に達成するための横断的な工夫・方法

第53回計画部会(今回)

- ① 重点目標ごとの政策の方向性、政策パッケージとそれを構成する主要施策について
- ② 新たなインフラマネジメント方針に基づく工夫等を継続的に普及・拡大させるための仕組みの構築について
- ③ 持続可能で質の高い社会資本整備を担保する措置について

(次回の予定) 重点施策・KPI、計画本文の素案等

1. 社会資本整備を取り巻く社会経済情勢の変化

2. 中長期を見据えた社会資本整備の方向性

(1) 社会資本整備を通じて重点的に対応すべき社会課題

①の議論を反映

(2) 目指す社会の姿に対応した4つの重点目標と、その実現に向けた政策の中長期的な方向性

②の議論を反映

(3) 新たなインフラマネジメントの方針と、方針に基づく工夫等が継続的に普及・拡大するための仕組みの構築

③の議論を反映

(4) 持続可能で質の高い社会資本整備を担保する措置

3. 重点目標ごとの「政策パッケージ」と重点施策、KPI

(1) 活力のある持続可能な地域社会の形成

(2) 強靱な国土が支える持続的で力強い経済社会

(3) インフラ分野が先導するグリーン社会の実現

(4) 戦略的・計画的な社会資本整備を支える基盤の強化

4. 計画の着実な推進

地方ブロックにおける社会資本整備重点計画の策定
重点計画のフォローアップ 等

重点目標ごとに、
「目指す社会の姿」、
「中長期的な方向性」を記載

(今回新たに提示)

重点目標ごとに以下を記載

- ・ 政策パッケージと、それを構成する重点施策
- ・ 重点施策の進捗状況を測るためのKPI（業績指標）

◆重点目標ごとの政策の方向性、政策パッケージとそれを構成する主要施策について

次期社会資本整備重点計画の重点目標案

《重点目標》

目指す社会の姿

活力のある持続可能な
地域社会の形成

地域経済の核となる集積づくりと広域連携

地域の将来像を踏まえたインフラの再構築

包摂社会に向けた地域づくりと豊かで快適な生活環境

強靱な国土が支える
持続的で力強い経済社会

持続的で力強い経済成長の実現

暮らしと経済の礎となる防災・減災、国土強靱化

インフラ分野が先導する
グリーン社会の実現

2050カーボンニュートラルの実現、自然共生社会の実現、
資源循環型の経済社会システムの構築

戦略的・計画的な
社会資本整備を支える
基盤の強化

地域のインフラを支える自治体の管理機能の維持

建設業・運輸業等の担い手の確保・育成、DXによる生産性向上

新技術・DXによるインフラの価値向上

【重点目標1】 活力のある持続可能な地域社会の形成

- 人口減少・少子高齢化が進む中、誰もが安全・安心で豊かな生活を送り、一人ひとりの可能性を最大限発揮できる場が確保され、域内経済の好循環と「域外から稼ぐ」力の向上が図られるよう、生活に必要な機能の身近なエリアにおける集積と広域連携の基盤整備を、地域の将来像に即したインフラストックの形成と一体的に進めるとともに、多様な地域資源の活用と豊かで快適な生活環境づくりを進める。

【重点目標1】について主に以下の方向で取組を進めるべきではないか。

目指す姿

地域経済の核となる集積づくりと広域連携

« 政策パッケージ »

- ◎ 生活関連サービスが持続的に確保される人口の確保に向けた都市機能等の誘導・集積
- ◎ 地域経済の好循環形成と「域外から稼ぐ」力の向上
- ◎ 域内外を結ぶ交通ネットワークの整備

目指す姿

地域の将来像を踏まえたインフラの再構築

« 政策パッケージ »

- ◎ 人口減少時代に対応したインフラストックマネジメント体系へのバージョンアップ
- ◎ インフラ再構築の取組を継続的に後押しする仕組みの構築

目指す姿

包摂社会に向けた地域づくりと豊かで快適な生活環境

« 政策パッケージ »

- ◎ あらゆる地域で、誰もが安心して暮らせるバリアフリー化
- ◎ 誰もが安全・安心に移動し、生活できる環境の形成
- ◎ 多様な資源を活かした魅力ある地域づくり
- ◎ 地域の人々が集まりつながりが生まれる公共空間の創出

地域経済の核となる集積づくりと広域連携

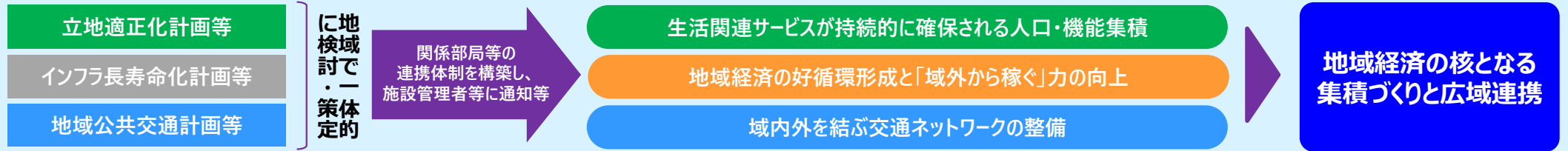
生活関連サービスの維持に必要な人口や機能の集積と、移動の足が確保された地域づくり

方向性

- 生活関連サービスが日常の行動圏内に集積し、世代を問わず日々の生活に必要な機能を楽しむ生活エリアの形成
行政区域にとらわれない計画策定や交通ネットワークの整備を通じた、高次の都市機能を地域内外の拠点で享受できる広域連携の推進
- 生活関連サービスやインフラメンテナンスなど地域に密着した産業の活性化や、「域外から稼ぐ」力の向上

政策パッケージとその主な施策

まちづくり・地域づくり、公共交通、インフラ整備の計画レベルでの連携強化



生活関連サービスが持続的に確保される一定の人口密度の確保 医療・福祉・商業等の機能の誘導・集積

- 立地適正化計画の深化・発展を通じた、更なる都市機能の集積、居住の誘導（市町村による計画の適切な評価・見直し、広域的な検討・調整の推進等）
 - 空き家等を活用した子育て・福祉施設の整備
 - 人が集まり生活していくために必要なインフラの機能の確保
- 【地域内の公共交通サービスの維持・確保】＜交通政策と一体的に実施＞
（ネットワーク再編、デマンドサービスの導入、自動運転の推進等）

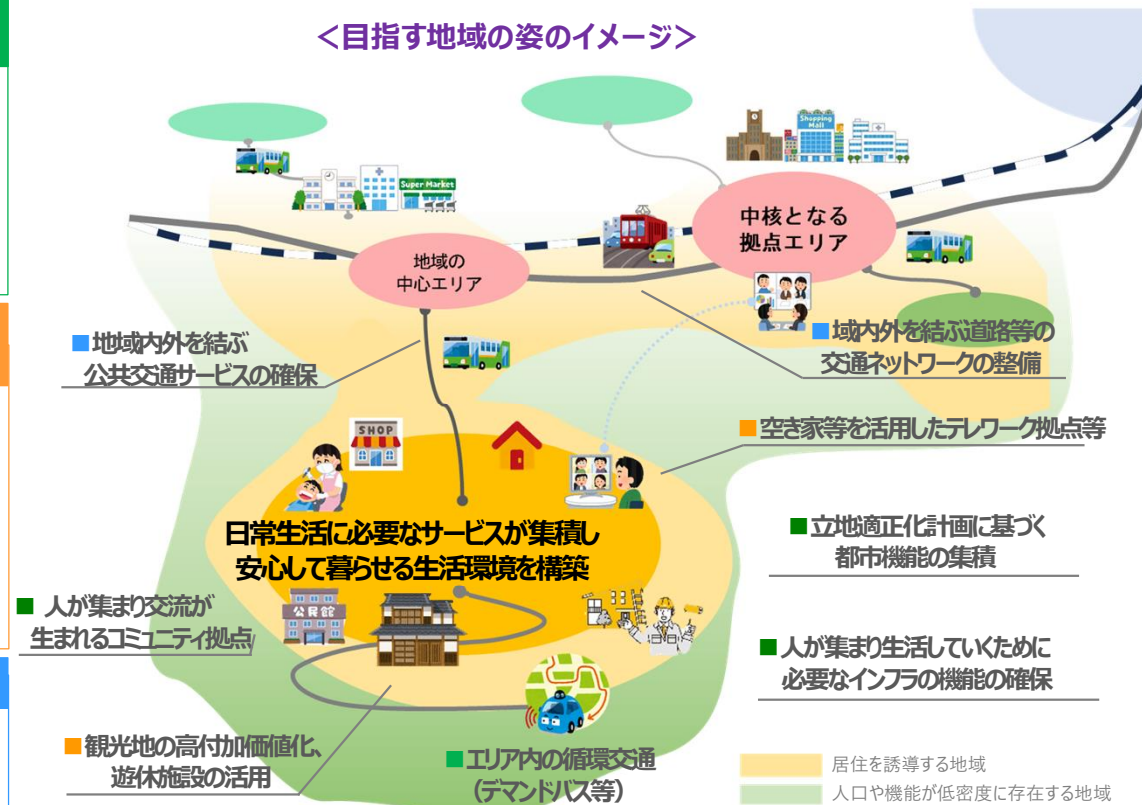
地域に密着した産業の活性化を通じた地域経済の好循環 「域外から稼ぐ」力の向上

- 地域のインフラメンテナンスやリフォームなどを拡大し、地元での就労機会の創出（地域企業の包括的民間委託等への参画促進等）
- 都市と地方にまたがって働く人を支え、地元住民・企業との交流を生む場づくり（サテライトオフィス、コワーキングスペース、インキュベーション施設の整備等）
- 観光地の高付加価値化や、民間の活力を活かした遊休施設の活用（観光振興に資する拠点施設の整備、スモールコンセッションの推進）
- 産業の地方立地に対応した周辺インフラ基盤の整備

域内外を結ぶ交通ネットワークの整備

- 域内外を結ぶ道路等の交通ネットワークの整備（高規格道路等の広域道路ネットワークによる地域・拠点間のアクセス確保）
- 【域内外を結ぶ公共交通サービスの確保】＜交通政策と一体的に実施＞

＜目指す地域の姿のイメージ＞



検討中の
K P I の例

公共交通の利便性の高いエリアに
居住している人口割合【P】

シェアサイクルサービスが導入されている
市区町村数【P】

道路による
都市間連達性確保率【P】

地域の将来像を踏まえたインフラの再構築

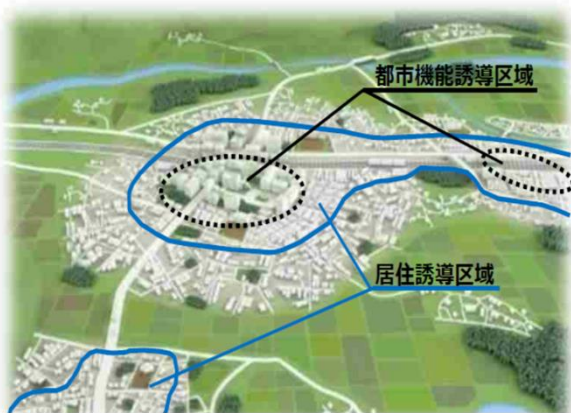
人口減少時代に対応し、将来のまちづくり・地域づくりの姿に即したインフラストックの形成

方向性

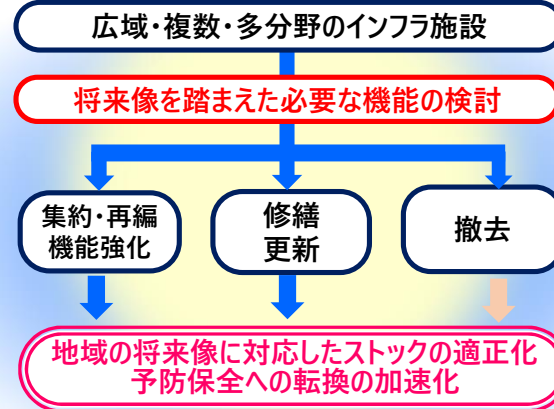
- 人口減少時代に対応した、まちづくり・地域づくりと一体となったインフラストックのマネジメント体系に移行し、地域の将来像に即したインフラの再構築を推進。地域のニーズに即してインフラの機能が最大限発揮されるよう、優先度等に基づく計画的な集約・再編や機能強化、修繕等を進め、地域の将来像に対応したストックの適正化を進めるとともに、予防保全段階への転換を加速化。

政策パッケージとその主な施策

立地適正化計画などの まちづくりの計画



まちづくりと一体となった インフラストックマネジメント



人口減少時代に対応した インフラストックマネジメント体系へのバージョンアップ

将来必要な機能に対応した集約・再編等の推進と インフラメンテナンスの重点的な実施

- 地域の将来像等を踏まえて、必要な施設の集約・再編や機能強化、不要な施設の撤去
- 地域の将来像等を踏まえた優先度に応じてインフラの管理手法を検討し、戦略的に修繕・更新を実施

予防保全への転換の加速化

- 施設の特性や優先度等を踏まえつつ、予防保全の管理水準を下回る状態となっているインフラの修繕等を重点的に進め、予防保全のサイクルへの移行を加速化
- 新技術の開発や導入、維持管理データの蓄積・共有等を通じて、点検・診断、補修・修繕等の対策を充実

「地域インフラ群再生戦略マネジメント」の主流化

- 広域・複数・多分野のインフラ施設を一体として捉え、将来必要な機能を検討の上、維持管理・集約再編等を戦略的に実施

全自治体の取組を継続的に後押しする仕組みの構築

手引き・基準類の整備・充実

- 地域の将来像等を踏まえた集約・再編等の考え方やメンテナンスの優先度の設定手法を示した手引きや点検基準、事例集等の整備・充実

先導的な取組の形成支援

- 広域・複数・多分野のインフラを官民連携手法も活用して一体管理や集約・再編等を行う優良な取組の検討を支援

取組状況の可視化と、遅れている自治体の取組の加速化

- 標準的な指標により全国横断的に自治体の取組状況を「見える化」し、問題意識の醸成と取組の喚起※
- 取組が特に遅れている自治体に対して直接、個別対話を実施ヒアリング等を通じて丁寧に取組を後押し

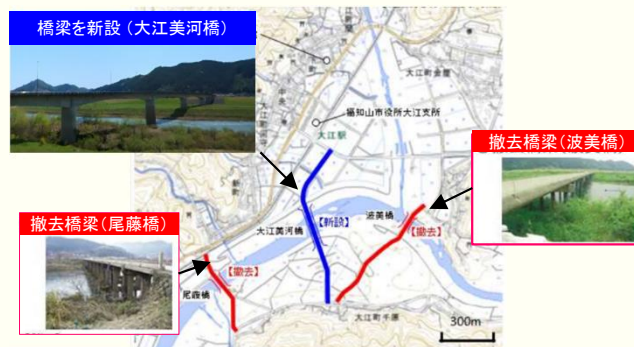
※まちづくり計画との連携状況や、修繕・更新率、集約再編件数等の自治体ごとのデータを定期的に収集・分析

インフラ長寿命化に関する政策体系を進化させ、具体的な取組を実行

インフラの再構築の事例

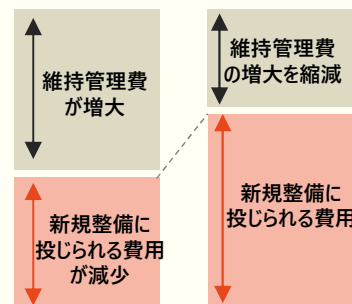
「地域の防災機能強化と一体となった橋梁の集約」 (京都府福知山市)

洪水時に水没する老朽化した2橋梁を撤去し、洪水時にも防災拠点へのアクセスを可能とする橋梁を新設し、渡河機能を集約



優先度等に基づく計画的な修繕等を通じた 予防保全への移行

「事後保全」にとどまる場合「予防保全」への転換



将来のインフラへの投資余力を確保

(※ あくまでイメージであり、予算額の増減を示すものではない)

検討中の K P I の例

まちづくり計画と自治体の公共施設等の老朽化対策の計画を
連携させた自治体数【P】

早急に修繕等の対策が必要な施設における修繕率【P】

施設の集約・再編等の実施件数【P】

包摂社会に向けた地域づくりと豊かで快適な生活環境

日常生活の安全性や利便性が高められ、年齢、性別、国籍、障害の有無等を問わず、一人ひとりが安全で便利に暮らせる地域の実現
インフラの多面的・複合的な活用を通じて、多様な生活シーンであらゆる人に親しまれるインフラ空間の提供

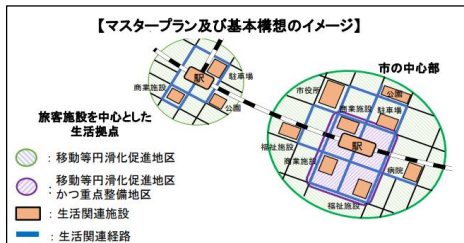
方向性

- 地域に暮らし、集う、あらゆる人が安全・安心に移動し、生活できる空間を整備することを通じ、包摂社会に向けた地域づくりを進める。
- 歴史・文化、景観、自然環境等の地域固有の資源を生かした個性豊かで潤いのある地域づくりを進めるとともに、地域のインフラ空間を多面的・複合的に活用することを通じて、地域課題の解決、住民や地域全体のwell-beingの向上に貢献する。

政策パッケージとその主な施策

■ あらゆる地域で、誰もが安心して暮らせるバリアフリー化・ユニバーサルデザイン

地方における地域特性をふまえた
バリアフリーまちづくりの加速



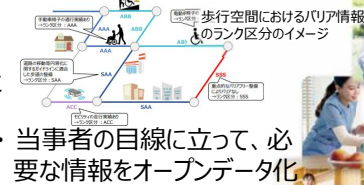
- ・自治体における移動円滑化促進方針（マスタープラン）の作成を促進し、まちづくりと一体となって重点的に事業を実施

「心のバリアフリー」浸透に向けた
学校、企業等との連携強化



- ・学校や企業等と連携した教育啓発活動の強化

ICTを活用したバリアフリー化



■ 住民一人ひとりが主役となった、 多様な資源を活かした魅力ある地域づくり

地域の人々の営みと一体となった
良好な景観形成、歴史まちづくりの推進

- ・地域の拠り所や顔となる場所において、質の高い景観形成を重点的に推進
- ・文化財行政との協働により、歴史的風致を次世代に継承



歴史的風致の維持向上

住民、企業、行政等が連携
した水と緑豊かな地域づくり



- ・利用者・地域住民等との連携による公園・緑地等の利活用



「みなと」を核とした、住民参加による地域振興（みなとオアシス）

年齢、性別、国籍、
障害の有無などを問わない、
一人ひとりのWell-being
の向上

- ・住民、企業等と連携した公園・緑地や水辺空間等の利活用を推進し、地域の新たな魅力を創出



多様な主体と連携した水辺空間の新たな利活用（ミズベリング）

■ こども・子育て世代、多様なモビリティのユーザー等 あらゆる人々を包摂する地域づくり

生活道路等の人優先の道路空間の形成



- ・最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全を向上

無電柱化の更なる推進

- ・安全・円滑な交通確保を目的とし、更なる無電柱化を推進

自転車通行空間の整備

- ・歩行者・自転車・自動車が適切に分離された安全で快適な通行空間

こどもや子育て当事者の
目線に立った公園づくり



- ・こどもの遊び場の確保や親同士・地域住民の交流機会の創出

■ 地域の人々が集まりつながりが生まれる 公共空間の創出

多様なニーズに応える道路空間の構築



出典：神戸市提供

- ・ほこみち制度を活用した人中心の賑わいのある道路空間の構築

民間の活力・創意工夫を活かした
賑わいあるインフラ空間の創出

- ・みなと緑地PPP ・ Park-PFI

「道の駅」第3ステージの推進



- ・あらゆる世代が活躍する地域の拠点となる「道の駅」の機能強化

「居心地が良く歩きたくなる」まちなか創出



- ・広場の整備や空地の利用等による、まちなかにおける滞在空間の創出や回遊性の向上

検討中の K P I の例

移動等円滑化促進方針、移動等円滑化基本構想を作成した地方公共団体数【P】

緑の基本計画のうち、こどもの遊び場や親同士の交流の場の創出に関する施策を位置付けている計画の割合【P】

かわまちづくり計画等に登録された箇所数【P】

滞在快適性等向上区域を設定した市町村数【P】

【重点目標2】 強靱な国土が支える持続的で力強い経済社会

- 強靱で効率的な物流・交通ネットワークの構築、地域の産業立地に合わせた機動的な周辺インフラ整備、都市の国際競争力を高める基盤整備等を通じて**生産性向上と経済の高付加価値化**を促進し、成長型経済への移行を実現する。
- 気候変動に伴い**激甚化・頻発化する自然災害**や**切迫する巨大地震等**のリスクから**国民の生命・財産と経済活動の基盤を守り、経済社会活動の持続性を確保**するため、ハード・ソフト一体の防災・減災、国土強靱化対策を、平時からあらゆる関係者の連携のもとで進める。

【重点目標2】について主に以下の方向で取組を進めるべきではないか。

目指す姿

持続的で力強い経済成長の実現

« 政策パッケージ »

- ◎ 生産性向上を支える強靱で効率的な人流・物流インフラの整備
- ◎ 地域の産業立地に対応した周辺インフラの重点的・戦略的な整備
- ◎ 民間資金を活用した都市の国際競争力を高める基盤の整備
- ◎ インフラ産業の成長力強化
- ◎ インフラ分野における経済安全保障上のリスクへの対応
- ◎ インフラ分野の新たな技術を活用して、経済社会活動に変革をもたらすサービスを導入

目指す姿

暮らしと経済の礎となる防災・減災、国土強靱化

« 政策パッケージ »

- ◎ 増大する自然災害リスクに対応し、防災インフラ整備やネットワーク強靱化に関する施策を抜本的に強化
- ◎ 被災後の迅速な復旧・復興も見据え、あらゆる関係者の総力を結集した平時から防災体制を強化
- ◎ 新技術等を活用して、災害対策の効率・効果を最大化

持続的で力強い経済成長の実現

人口減少・少子高齢化の下でも力強く持続的に経済が発展する基盤を構築

方向性

- 我が国の持続的な成長型経済への移行を確実なものとしていくため、生産性向上を支える強靱かつ効率的な物流・交通ネットワーク整備や、産業立地に対応した周辺インフラ整備を着実に進めるとともに、国内外の人々を惹きつけ、交流を通じてイノベーションを創出する基盤を整備する。
- 国内外のインフラビジネス市場への参入を通じて関連産業の拡大と競争力強化を後押しするとともに、インフラ分野の新しい技術の社会実装を進め、経済社会活動に変革をもたらすサービスの導入を促す。

政策パッケージとその主な施策

生産性向上を支える強靱で効率的な人流・物流インフラの整備

産業を支える人流・物流ネットワークの整備

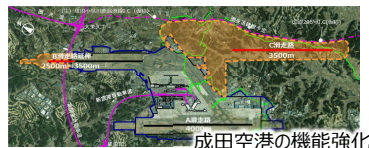
- ・三大都市圏等の環状道路の整備
- ・交通流を最適化する料金制度の導入や、ネットワークの階層に応じた道路のサービスレベルの向上

国内外を結び 交流拠点の更なる 機能拡充・強化

- ・首都圏・近畿圏・中部圏空港の機能強化
- ・拠点空港等へのアクセス機能の強化
- ・クルーズ船の受入環境整備

社会的ニーズの変化や自動運転等の 新技術の実装に対応した物流拠点の整備

- ・国際コンテナ戦略港湾について、大型船に対応した大水深岸壁の整備や国際フィーダー航路網を強化
- ・地域の基幹産業の競争力強化や民間投資の誘発等に資する港湾機能の強化
- ・国内物流を安定的に支えるフェリー・RORO輸送網の構築



成田空港の機能強化

- ・地域の産業振興、まちづくり等とも連携した物流拠点の整備



大規模・大水深のコンテナターミナルの整備

出典：横浜市提供資料

地域の産業立地に対応した 周辺インフラの重点的・戦略的整備

戦略分野の国家プロジェクト等の関連インフラ整備



〔出典：経済産業省半導体に関する最近の政策動向について〕

- ・半導体等の大規模な生産拠点整備を支える関連インフラの機動的かつ追加的な整備



機械 食品加工 物流

- ・産業団地等に関連する緑地や道路等の都市・物流関連インフラ整備により、域外から稼ぐことができる産業立地を促進

民間資金を活用した 都市の国際競争力を高める基盤整備

- ・優良な民間都市開発プロジェクト等により国内外から付加価値の高い企業や人材を惹きつける施設や環境の整備等を推進し、グローバルな人々の交流を通じた都市におけるイノベーションの創出等を加速

日本橋川沿いエリア



グラングリーン大阪プロジェクト



〔出典〕首都高速道路日本橋区間地下化事業関係パンフレットより

インフラ産業の成長力強化

PPP/PFI推進を通じたインフラ関連産業の 拡大と競争力強化

- ・民間事業者の創意工夫を活かしやすい、分野横断型・広域型のPPP/PFIの形成促進

成長する海外インフラ市場への参入促進

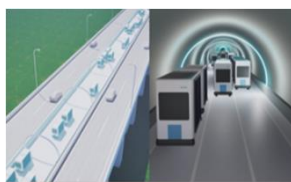
- ・運営・維持管理も含む、相手国のニーズに即した付加価値の高いビジネス展開の促進

インフラ分野の新たな技術を活用して、経済社会活動に変革をもたらすサービスを導入

リニア中央新幹線



自動物流道路



自動運転の実現



空飛ぶクルマの実現



水素等のサプライチェーン構築



検討中の K P I の例

三大都市圏環状道路
整備率【P】

我が国に寄港する国際基幹航路の
輸送力の確保【P】

三大都市圏国際空港の
国際線就航都市数【P】

国際競争拠点都市整備事業により国際競争力強化のための
基盤整備を実施している都市の主要地区の地価の増加割合【P】

暮らしと経済の礎となる防災・減災、国土強靱化

激甚化・頻発化する自然災害や切迫する巨大地震等のリスクから国民の生命・財産と経済活動の基盤を守り、経済社会活動の持続性を確保

方向性

- 土地利用も含むハード・ソフト一体となった事前の防災・減災対策により、気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害や切迫する巨大地震等から国民の生命・財産と経済活動の基盤を守り、経済社会活動の持続性を確保する。
- あわせて、平時からあらゆる関係者の連携により防災体制を強化するとともに、AI、ドローン・ロボットや3D都市モデル等の新技術等の活用により、効率的に防災・減災対策の効果を最大化する。

政策パッケージとその主な施策

■ 激甚化・頻発化し、切迫する災害への事前の備えの加速化・深化

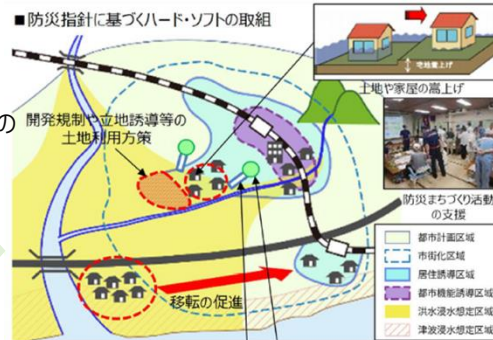
- ・ 複合災害や半島部での災害など近年の経験も踏まえた事前の防災・減災対策により、災害に伴う人命・財産や社会・経済上重要な機能への被害を防止・軽減するとともに、迅速な復旧・復興のための基盤を強化

ハード・ソフト一体となった防災インフラ整備



災害リスクや地域の将来像を踏まえ一体的に推進

災害に強いまちづくり・地域づくり



- ・ 立地適正化計画の防災指針の策定の働きかけ強化等や上下水道施設の耐震化等により、災害に強いまちづくり・地域づくりを推進

災害時に機能する陸海空のネットワーク構築と防災拠点の強化

- ・ 早期復旧・復興の基盤として災害時にも機能する陸海空のネットワークの整備等
- ・ 港湾、空港や防災公園、道の駅等、復旧・復興の拠点となる施設等の浸水対策、耐震化や燃料・電力供給や避難機能を強化



災害に強い道路ネットワークの整備



港湾の岸壁等の耐震化



給油施設の耐震化

■ 多様な関係者が連携した平時からの防災体制の強化

- ・ 多様な関係者と連携し、災害対応力を最大限発揮できるような防災体制を平時から構築するとともに、大規模災害時の被災自治体への支援体制を強化

地域の行政、住民、企業等が連携した平時からの災害対応力強化



地域建設業との連携強化



多様な関係者が参加する訓練の実施

TEC-FORCE等の災害支援体制・機能の充実・強化



照明車を活用した昼夜を徹した道路の緊急復旧

TEC-FORCEによる被災状況調査



低軌道周回衛星を使用した衛星通信設備

フェーズフリー対応可能な資機材の充実

■ 新技術等を活用して、災害対策の効率・効果を最大化

- ・ 事前の防災対策や、災害救助や避難支援、復旧工事等を効果的かつ効率的に実施できるよう、個人情報保護やセキュリティにも配慮しつつ、ドローン・ロボットやAR/VR等の導入を加速



遠隔式バックホウによる三次災害リスクの高い現場作業



ドローンによる被災状況調査



埼玉県蓮田市：洪水時の避難ルートの可視化

検討中のKPIの例

気候変動を踏まえた洪水に対応した河川の整備率（国管理河川）【P】

災害に強い市街地形成に関する対策を優先的に必要とする地域のうち、対策が概成した割合【P】

大規模地震時に確保すべき海上交通ネットワークのうち、発災時に使用可能なものの割合【P】

TEC-FORCEによる被害状況把握等の高度化への対応割合【P】

【重点目標3】 インフラ分野が先導するグリーン社会の実現

- **国民生活や経済活動の脱炭素化**に資するインフラ整備を進めるとともに、インフラ整備やまちづくり等に自然資本を取り入れる「**グリーンインフラ**」の実装、**インフラ分野の資源循環**に係る取組を加速化し、**グリーン社会の実現を先導する**。

【重点目標3】について主に以下の方向で取組を進めるべきではないか。

目指す姿 2050年カーボンニュートラルの実現

« 政策パッケージ »

- ◎ 運輸、家庭・業務部門の脱炭素化を支える基盤整備
- ◎ インフラ空間を活用した再生可能エネルギーの拡大
- ◎ インフラのライフサイクル全体での脱炭素化

目指す姿 自然と共生する社会の実現

« 政策パッケージ »

- ◎ 自然環境が有する機能を活用した流域治水の推進
- ◎ 都市・地域における水辺・緑地や良好な生態系の保全・再生・活用等
- ◎ グリーンインフラの活用促進に向けた官民の意識の醸成

目指す姿 資源循環型の経済社会システムの構築

« 政策パッケージ »

- ◎ 建設リサイクルの高度化 ◎ 下水道資源の有効活用
- ◎ 港湾を核とする広域的な資源循環ネットワークの強化

インフラ分野が先導するグリーン社会の実現

脱炭素化を支えるインフラ整備、グリーンインフラの社会実装、資源循環の強化を進め、社会・経済のグリーン移行をけん引

2050年カーボンニュートラルの実現

脱炭素化を支える基盤の整備を通じて、国民生活や経済活動の排出削減をけん引

自然と共生する社会の実現

「グリーンインフラ※」の実装により自然環境が有する機能を社会課題の解決に活用し、人と自然環境のより良い関係を構築

資源循環型の経済社会システムの構築

インフラ分野における資源循環の促進により、循環型社会への移行を推進

カーボンニュートラル、自然共生社会、サーキュラーエコノミーを一体的に捉えた施策展開（政策パッケージとその主な施策）

■ 国民生活・経済活動の脱炭素化を支える基盤整備

- ・ クリーンエネルギー自動車の普及拡大を支える充電設備や水素ステーション、水素等の受入・物流拠点の整備
- ・ モーダルシフトや交通需要マネジメント、スマートシティや公共交通を軸としたまちづくりにより、環境負荷の低い交通・物流やライフスタイルへの転換を促進



■ インフラ空間を活用した再生可能エネルギーの拡大

- ・ インフラ空間を活用した太陽光発電設備の拡大や、水力発電の増強、洋上風力発電の導入促進



■ インフラのライフサイクル全体での脱炭素化

- ・ 素材を含む建設プロセスから維持管理・運用の段階までに至る脱炭素化を推進



■ 流域治水におけるグリーンインフラの推進

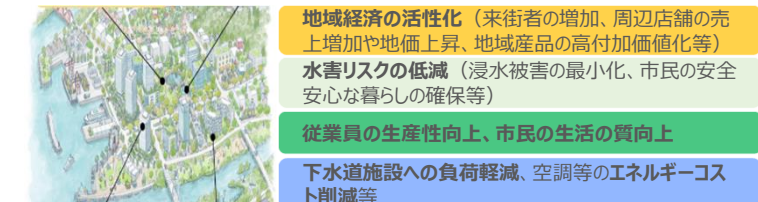


■ 都市・地域における水辺・緑地や良好な生態系の保全・再生・活用等



■ グリーンインフラの効果の見える化

- ・ グリーンインフラによる多面的な効果を把握し「見える化」する手法を開発するとともに、グリーンインフラの効果を幅広く発信

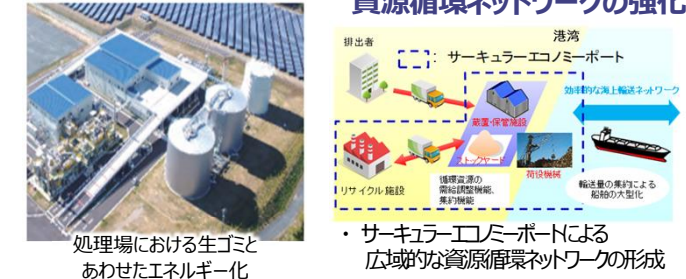


■ 建設リサイクルの高度化

- ・ 官民一体となった建設発生土の有効利用を推進
- ・ 建設廃棄物を同種の製品として再生・利用する「水平リサイクル」の推進



■ 下水道資源の有効利用 ■ 港湾を核とする広域的な資源循環ネットワークの強化



<参考> 産業廃棄物の業種別排出量（R2）

農業・林業	8,237万t	(22%)
建設業	7,821万t	(21%)
下水道業（下水汚泥）	7,806万t	(21%)
パルプ・紙・紙加工品	3,036万t	(8%)
鉄鋼業	2,118万t	(6%)
電気・ガス・熱供給・水道業	2,126万t	(6%)
その他	6,210万t	(17%)

検討中の
KPIの例

洋上風力発電の
案件形成【P】

都市域における水と緑の
公的空間確保量【P】

湿地を保全・創出した面積【P】

日本の港湾における循環資源の
年間取り扱い量【P】

※社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

【重点目標4】 戦略的・計画的な社会資本整備を支える基盤の強化

- 地域のインフラを支える自治体の職員不足や、建設業、運輸業の将来の担い手不足が深刻化する中で、**広域連携や官民連携等により自治体のインフラ管理機能を維持**するとともに、**建設業・運輸業等の担い手の確保・育成、DXによる生産性向上**等を進める。
- AIやドローン等の新技術の急速な進歩、IoT機器等を通じた大量のデータの集積を受け、インフラ分野においてもこれらの**技術やデータを最大限活用**して、社会の様々な課題解決ニーズに対応した価値を高める。

【重点目標4】について主に以下の方向で取組を進めるべきではないか。

目指す姿 地域のインフラを支える自治体の管理機能の維持

« 政策パッケージ »

- ◎ 広域・複数・多分野の施設を一体として捉えた戦略的なインフラ管理の主流化
- ◎ 複数自治体、官民等の連携・協働体制の構築促進
- ◎ インフラの効率的管理に資する新技術・情報基盤の整備・活用

目指す姿 建設業・運輸業等の担い手の確保・育成、DXによる生産性向上

« 政策パッケージ »

- ◎ 第三次・担い手3法を踏まえた建設業の担い手確保・生産性向上
- ◎ 空港、港湾等の業務従事者、トラックドライバー等の処遇改善や働き方改革

目指す姿 新技術・DXによるインフラの価値向上

« 政策パッケージ »

- ◎ データ連携やAI等を活用した賢く(Smart)、安全で(Safe)、持続可能な(Sustainable)インフラの管理・運用
- ◎ インフラ、都市・地域のオープンなデータ空間を構築し、インフラの管理・運用を高度化
- ◎ 産学官が連携した研究開発やスタートアップ支援等により、インフラ関連の新産業を創出

地域のインフラを支える自治体の管理機能の維持

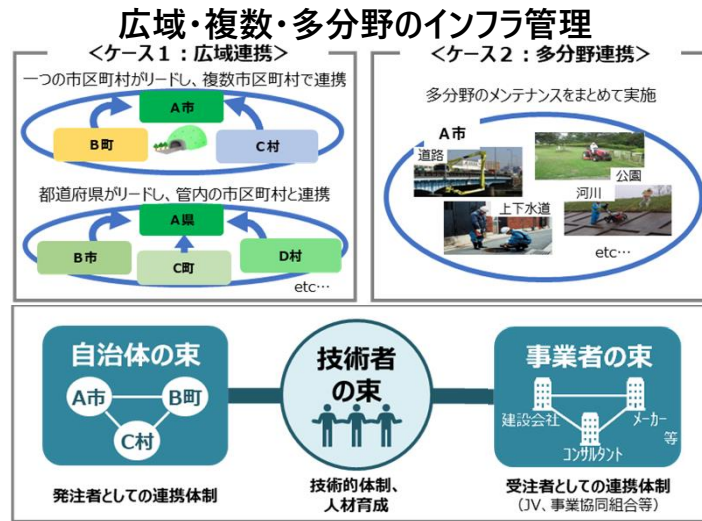
インフラメンテナンスが地域密着型の魅力ある産業として持続的に成長するとともに地域のインフラ管理を担う自治体の機能が維持され、地域の就業機会と活力が創出される

方向性

- 広域・複数・多分野のインフラを官民連携により管理する取組の普及を推進し、これからの時代の地域のインフラ管理の「当たり前」にしていく。
地域のインフラマネジメントを支える主体間の連携・協働体制の構築を市町村等に普及し、効率的・効果的なインフラ管理の実現につなげる。
- 地域の民間事業者の創意工夫が発揮される手法を広く普及し、地域のインフラメンテナンス産業の持続的な成長につなげていく。

「これからの時代における地域のインフラ管理の姿」

地域のインフラを「群」として捉えた管理やインフラ維持のためのPPPの取組を
地域のインフラ管理の「当たり前」に



地域インフラ維持のためのPPPの取組

複数年にわたる継続的な契約	性能発注の推進	補修・修繕工事等の組み込み	地域社会への貢献の評価	データ連携、新技術活用
適切な発注規模や契約期間を確保し、業務を実施しやすい契約	発注時に性能規定を組み込み、民間の創意工夫を引き出す	関連性が高い、比較的規模の大きな補修・修繕工事等を組み込み効率化	地域の実情に精通し現場へのアクセス性にも優れた地元事業者の活躍	インフラメンテナンスとDXを結びつけることによる業務の効率化

自治体のインフラ管理機能の維持

維持管理業務の収益性向上
地域建設業の経営の安定化・体制確保

必要なインフラを次世代に引き継ぎ、
地域の将来像を実現

地域の雇用・経済の拡大・地方創生
地域の災害対応力の向上

インフラ長寿命化に関する政策体系を進化させ、集中的に体制構築を推進

政策パッケージとその主な施策

広域・複数・多分野の施設を一体として捉えた戦略的なインフラ管理の主流化

- 広域・複数・多分野の施設を一体として捉える「地域インフラ群再生戦略マネジメント」の手引きの作成・周知
- 戦略的なインフラマネジメントの取組に対する重点的な支援

複数自治体、官民等の連携・協働体制の構築促進

- インフラメンテナンス国民会議や官民連携の各種プラットフォームを通じた機運醸成、裾野の拡大
- 事例集・マニュアル等の作成、地域課題解決に向けた先導的な取組の支援等を通じた先行事例の創出
- 自治体間・分野間の連携や官民連携を促進するための入札契約等の制度改善
- 新しいインフラマネジメントを現場で担う地域の事業者の連携体制強化

インフラの的確な管理に資する新技術・情報基盤の整備・活用

- メンテナンスの充実に資する新技術の活用促進
- デジタルデータを活用したメンテナンスの高度化

自治体ごとの取組状況の「見える化」と特に遅れがみられる自治体の伴走支援

- 自治体ごとの取組状況等の「見える化」を通じた意識醸成、トップレベルへの働きかけや個別対話等による取組喚起
- 特に体制構築が急がれる自治体に対して、個別対話を通じて丁寧な取組を後押し

検討中の
K P I の例

効率的・効果的なインフラメンテナンスを推進するための
取組を計画等に位置づけた自治体の割合【P】

維持管理に係る情報のデータベースを活用
した施設管理者の割合【P】

点検・診断などの業務において、一定の技術水準を満たしたロボット
やセンサーなどの新技術等を導入している施設管理者の割合【P】

建設業・運輸業等の担い手の確保・育成、DXによる生産性向上

他産業に負けない処遇の実現と生産性の向上、適正な契約や働き方を実現し、人口減少下でも、「地域の守り手」としての役割や国民生活・経済を支える機能を将来にわたって果たす

方向性

- 建設業の担い手の確保や生産性向上の取組を通じて、社会資本整備の担い手である建設業の持続可能性を確保する。
- 空港、港湾の業務従事者やトラックドライバーの処遇改善・働き方改革を通じて、物流・人流インフラの機能を確保する。

政策パッケージとその主な施策

■ 第三次・担い手 3 法を踏まえた担い手確保等

建設労働者の処遇改善

- 労務費の基準の作成・勧告
- 建設業者における処遇確保の取組状況の調査・公表
- 建設キャリアアップシステムを活用した技能と経験に応じた技能者の適切な処遇を確保



建設業団体との賃上げ等に関する意見交換会 (R6.3.8)



若手社員教育の支援

建設業の働き方改革

- 猛暑日等も踏まえた適正な工期設定
- 公共工事の施工時期等の平準化の更なる推進
- 週休 2 日制適用工事の推進



「目指せ！建設現場 土日一斉閉所」運動

ICT活用、新技術の導入等による生産性向上

- i-Construction2.0の推進
- 中小建設会社のDX支援



建設機械施工の自動化



デジタル化・ペーパーレス化

実効性確保

- 建設Gメンによる改善指導等を通じた取引の適正化

適正な請負代金・労務費の確保

適正な価格転嫁
労務費指針への対応状況
資材価格の転嫁協議状況

適正な工期の設定

適正な下請代金の支払



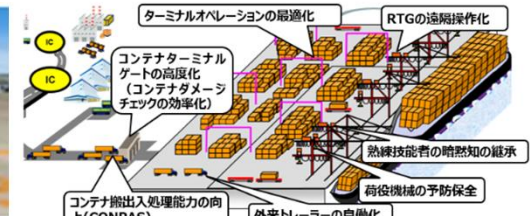
■ 空港、港湾等の業務従事者、トラックドライバー等の担い手確保等

空港、港湾等の業務従事者の処遇改善・働き方改革

- 航空・空港関係事業者における人材確保・育成の取組の推進
- 空港・港湾等におけるAIや自動運転等の新技術の導入加速



自動運転トローイングトラクター (レベル4)



ヒトを支援するAIターミナル

改正物流法等による生産性向上と取引環境の適正化

- 改正物流法に基づく、一定規模以上の荷主等に対する中長期計画や定期報告の義務付け、指導・助言等による荷待ち・荷役等時間の短縮等
- 適正運賃・料金収受に関する周知・働きかけ、価格転嫁円滑化の促進
- 荷役作業等の機械化・自動化等による省人化や人材育成等への支援
- 関係省庁と連携したトラック・物流Gメンによる商習慣の是正



物流における省人化に資する新技術の導入



トラック・物流Gメンによるヒアリング・周知

検討中の K P I の例

国・都道府県・市町村における建設キャリアアップシステム活用工事の導入率 [P]

公共工事における週休 2 日工事又は週休 2 日交替制工事の制度導入率 [P]

自動建設機械を適用した工事件数 [P]

直轄工事における中小建設業者の ICT 施工の経験割合 [P]

新技術・DXによるインフラの価値向上

インフラデータ空間の構築とAI・ロボット等の新技術活用により、インフラサービスの高度化と関連産業の振興を実現する

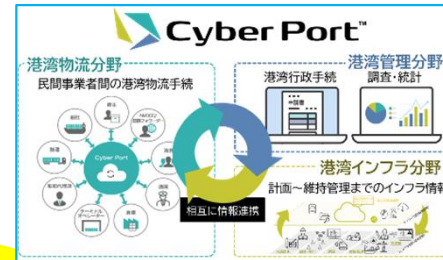
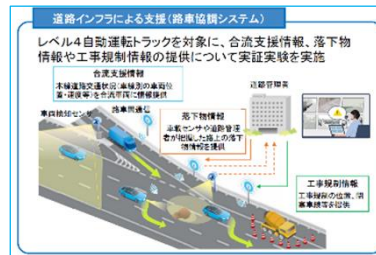
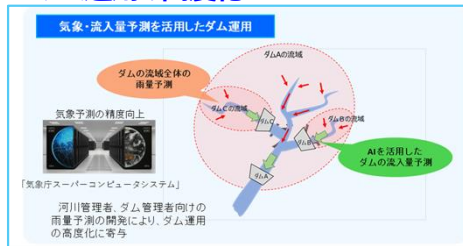
方向性

- インフラや都市・地域のデータ空間の構築を加速し、その活用によってデータ連携とAI等の活用によるインフラサービスの高度化を図る
- インフラ・都市・地域データを活用したインフラ分野のオープンイノベーションを支援し、インフラ関連の新産業を創出する。

政策パッケージとその主な施策

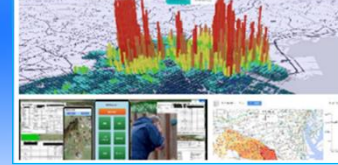
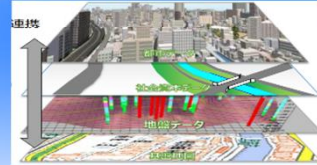
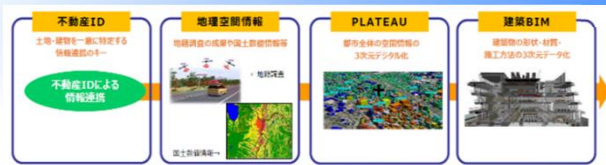
■ データ連携やAI等を活用した賢く(Smart)、安全で(Safe)、持続可能な(Sustainable)インフラの管理・運用

- 精度の高い気象データやAIを活用したダム運用の高度化
- 高速道路等における自動運転のための環境整備
- サイバーポートによる生産性の向上
- スマートシティの実装を通じた都市・地域の課題解決



■ インフラ、都市・地域のオープンなデータ空間の構築

- 建築BIM、都市空間情報の3次元デジタル化(PLATEAU)、不動産IDの一体的推進
- 国土交通データプラットフォームの充実と利便性向上
- 国土交通分野の行政情報のデータ整備・活用・オープンデータ化 (Project LINKS)
- インフラ分野のデータセキュリティ対策強化と個人情報保護の徹底

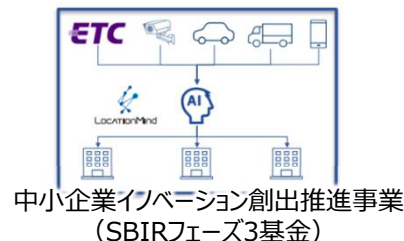


■ 産学官連携による研究開発やスタートアップ支援等によるインフラ関連の新産業の創出

- 産学官連携による技術開発の支援
- 中小企業のイノベーション創出支援
- インフラ関連産業の振興・裾野拡大
- 技術開発・事業化を支える規制・制度改革



研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE)



中小企業イノベーション創出推進事業 (SBIRフェーズ3基金)



PLATEAU AWARD



無人航空機の事業化に向けたルール整備等

検討中の
K P I の例

サイバーポート (港湾管理分野) を
利用する港湾管理者数 [P]

スマートシティに関し、技術の実装をした
地方公共団体・地域団体数 [P]

国土交通データプラットフォームと
連携するデータ数 [P]

**◆新たなインフラマネジメント方針と、方針に基づく工夫等が
継続的に普及・拡大するための仕組みの構築について**

新たなインフラマネジメント方針について

新たなインフラマネジメント方針（素案）

－ インフラ整備の目標を効率的かつ効果的に達成するための工夫・方法 －

ハード・ソフトの一体的な活用

- インフラのハード面の機能に加え、ソフト施策を効果的に組み合わせることにより相乗効果の最大化を図る。制度の最適化や社会の行動様式まで考慮したインフラマネジメントを進める。

例：流域治水の推進、地域生活圏に必要なサービス提供のための「道の駅」の機能強化、ダムの運用高度化による治水・利水機能の強化 等

施策・事業間や地域間の連携 （複合的・多目的・広域的再構築）

- 分野（施策・事業・計画）や従来の行政区画にとらわれず、分野間の連携や複合的・多目的・広域的なインフラの再構築を図り、様々な地域課題の解決に分野横断的に効率的かつ効果的に取り組む。
- 地域の将来像を踏まえ、単独の地域・省庁・管理者にとどまらず、複数・他分野の施設をまとめて捉えた社会資本整備を進める。

例：「道の駅」の防災拠点化、道路・河川・公園等の公共空間の利活用、長寿命化計画とまちづくりの計画の連携によるインフラメンテナンス 等

官民等の連携・協働

- 民間の資金や技術・ノウハウを最大限に活用してより高機能のインフラを整備する。
- PPP等の活用を通じ、地域における持続可能なインフラマネジメントを支える官民連携体制の構築を推進する。

例：Park-PFI、みなと緑地PPP、インフラ老朽化対策のための包括的民間委託、ウォーターPPP 等

地域の住民など 多様な関係者の共感と参画

- インフラ整備が地域社会に与える多面的な効果（生産性向上やにぎわい創出、生活の質の向上等）や、インフラが備える意匠性や構造美、景観との調和など、感性に訴えかける価値の発信や、国民とインフラとのふれあいの促進
- 計画策定や管理などの段階において地域住民などの多様な関係者の参画を得つつ進める。

例：インフラツーリズム、インフラ広報の充実、水辺・沿道空間の維持管理等における地域住民等との協働 等

新技術活用・DXの加速化 によるイノベーションの創出

- 個人情報保護や情報セキュリティに配慮しつつ、最新のデジタル技術等を活用し、インフラが地域、利用者等の細かなニーズに対応できるようにする。
- AIや自動化技術、遠隔化技術等の新技術を効果的に活用することにより、インフラによる生産性向上効果等の最大化を図る。

例：シミュレーションを活用したまちづくりの最適化、交通需要マネジメント、自動物流道路、「ヒトを支援するAIターミナル」の実現、i-Construction 2.0の推進 等

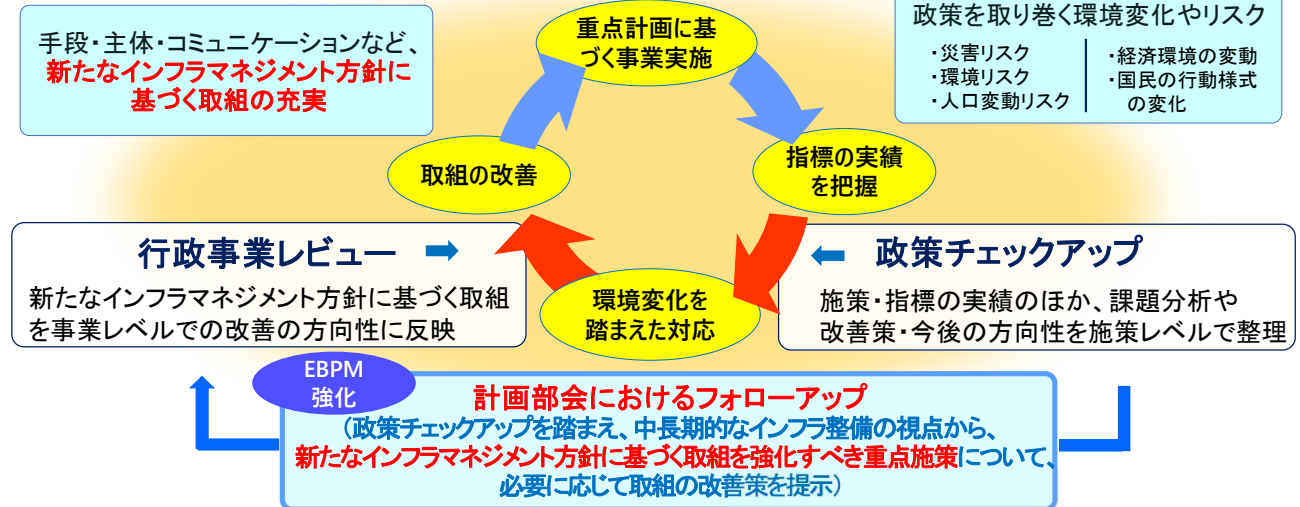
継続的なスパイラルアップのための新たな仕組みの構築

- 先導的なプロジェクトやモデル的な取組等を効果的に支援するとともに、先進事例等の工夫・効果・教訓等を蓄積・発信し、効果的な横展開につなげることで全体レベルの向上（底上げ）を図る。さらに、新たな事例から得られる知恵や工夫を普及することにより、スパイラルアップを図る。
- 経済的手法も活用して多面的な整備効果（生産性向上や生活の質の向上等）の誰にでも分かりやすい「見える化」を進め、地域住民の支持を受けて、より効果の高いインフラ整備につなげる。
- 上記の取組が継続して実施されるよう、官民連携の推進体制や自治体を継続的に伴走支援する体制を構築する。

新たなインフラマネジメント方針に基づく工夫等が継続的に普及・拡大するための仕組み

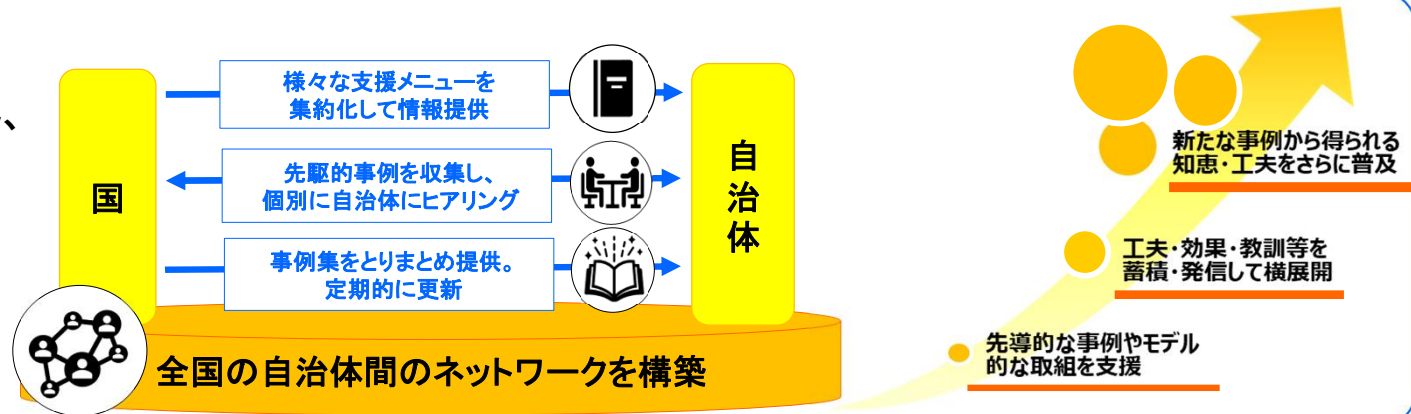
整備目標の達成に向けた
マネジメントサイクル

- ◎ 重点計画のフォローアップのサイクルの中で、新たなインフラマネジメント方針に基づく取組の実施状況を把握
- ◎ 必要に応じて、行政事業レビューにおける点検結果や改善の方向性に、新たなインフラマネジメント方針に基づく取組の充実の必要性などを位置づけ、事業実施に反映



自治体全体のレベル向上
(底上げ)

- ◎ 全国の自治体間のネットワークを構築し、新たなインフラマネジメント方針に基づく先駆的な取組事例の共有や、知恵と工夫の継続的な普及・拡大を図る



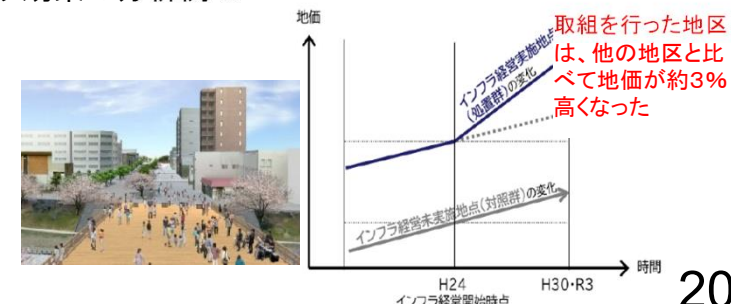
インフラのストック効果の
把握・発信の支援

- ◎ 地域の住民など多様な関係者の共感と参画を得られるよう、経済的手法や様々なデータを活用し、インフラが地域に与える多面的な効果を簡便に把握し、わかりやすく「見える化」する手法を充実
- ◎ 専門家との連携の下、自治体等におけるインフラのストック効果の把握・見える化を支援する。

＜ インフラのストック効果の分析例 ＞



東京外かく環状道路(千葉区間)開通5年後の整備効果
(関東地方整備局、NEXCO東日本、首都高)



愛知県岡崎市乙川リバーフロントかわまちづくりの分析例(インフラ経営の実践によるストック効果の分析のためのガイダンスより)

◆ 持続可能で質の高い社会資本整備を担保する措置

持続可能で質の高い社会資本整備を担保する措置

- 気候変動による災害の激甚化・頻発化、インフラ老朽化のさらなる進行等の中で、社会資本が将来にわたって機能を発揮するよう、企業等の予見可能性を確保しつつ、近年の資材価格や労務費等の動向も考慮した、安定的・持続的な公共投資を推進。
- あわせて、PPP/PFIによる民間の資金・人材・ノウハウの活用拡大、受益者負担を求めうる分野での適切な負担の検討も着実に進める。
- 公共投資が効率的に質の高い社会資本の整備につながるよう、社会資本の多様な効果や事業リスクの考慮等、公共事業の評価手法の改善を継続。

戦略的・計画的な社会資本整備を支える安定的・持続的な公共投資

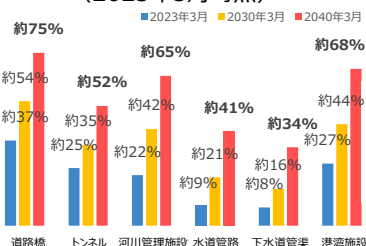
安定的・持続的な公共投資の必要性

災害の激甚化・頻発化

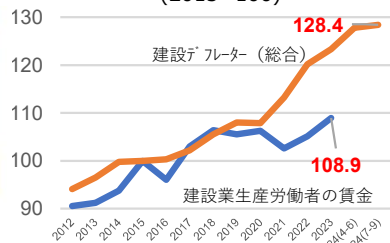


令和6年能登半島地震における切土崩壊（能越道（のと三井IC～穴水IC））

建設後50年以上経過する社会資本の割合（2023年3月時点）



近年の資材価格・労務費の推移（2015=100）



民間資金の活用推進、利用者等の適切な負担



ウォーターPPP（コンセッション方式と管理・更新一体マネジメント方式の総称）の導入による上下水道事業・経営の持続性向上



民間資金を活用した港湾緑地等の整備・管理の負担軽減（みなと緑地PPP）



車両・設備の老朽化、災害の激甚化等も踏まえた鉄道運賃・料金の変更のための算定方法の見直し

質の高い社会資本整備を担保する公共事業の評価手法の改善

多様な効果を勘案した評価

貨幣換算が可能な効果の評価

- ・需要予測手法の精緻化
- ・費用便益分析の精緻化

（パラメータ）

原単位

評価期間

社会的割引率

等

- ・便益の追加
例：CO₂削減、Wider Economic Impacts 等

貨幣換算が困難な効果の評価

- ・貨幣換算が困難な効果の抽出と評価手法の確立

例：

- ・環境への影響
- ・災害時における人や物資の輸送を確保
- ・歴史・文化的価値等

その他、上位計画との整合性、ネットワークの中での効果等、様々な視点から総合的に判断・意思決定

事業リスクへの対応強化

- ・事業特性を踏まえた事業費に関するリスクへの対応強化
 - ✓各設計段階のリスク分析・評価の実施
 - ✓今後予見されるリスクの明示
 - ✓リスクを考慮した事業費の計上
- ・再評価を実施するタイミングの明確化
- 特に事業費の変動の影響が大きい大規模事業について、当初事業費の算定について、事業特性に応じた検討を深めていく

国民生活や社会経済活動の礎となる社会資本のストック効果の発揮

生産性向上、民間投資の誘発

多様な経済活動を支える基盤として、全国各地の産業・雇用を支える

地域の災害等のリスクを低減

被災時の被害軽減のみならず、地域の安全性向上を通じ民間投資の拡大

持続可能な地域の構築

地域の生活の質の向上や、地域生活に必要なサービスの生産性を向上

企業の予見性向上



ネットワークの整備を見据え、新東名・東名沿線の企業立地が加速（H24.1～H28.6に立地した工場の累計）

社会資本整備を支える建設業における人材育成や生産性向上



モバイル端末による3次元測量